

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	グループホーム福間の職員としての自覚とスキルアップ	若い職員の気付き・アイデア・代替案等、積極的な意見交換が出来、又入居者中心に活気ある働きやすい職場環境作りの改善。職員間/御家族とのコミュニケーションの構築を図る。	朝礼・終礼・ミーティング・勉強会・会議等を活かし、全職員に対し発言の場を増やすと共に、問題行動に向き合える若い職員の人材育成に取り組む。	12ヶ月
2	29	独自のセンター方式は定着したが、個別ケアを実践とする個別処遇シート記入後の職員の現状確認の意識に結び付かない。	《その人らしく》の個別ケアを充実させ、御家族と共に、笑顔が絶えない当ホームを築いていく。	個別処遇シートを記入後ホワイトボードを活用し、尚且つ毎朝の朝礼時に担当リーダーが全体職員より聞き取り、各担当に処遇内容を再認識してもらう方向で取り組んでいる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。